



巻頭言

苦戦のあとの薄明かり

九州大学名誉教授
福岡女学院大学客員教授
福留 留美 先生

寄る年波の限界も考えずに、昨年4月から小児科の心理職を希望して週1で勤務を始めました。小学生から中学生までの子どもさんの心理面接と保護者面接を1時間枠の中で行っています。

子どもの心理面接の経験は、約50年前の大学院生時代に遡ります。かつて九大箱崎文系キャンパスに隣接した福岡県精神衛生センターで行われていた村田豊久先生ご指導の自閉症児のグループセラピー（ここでは村山正治先生の奥様にも貴重なご指導をいただきました）の活動を皮切りに、九大教育学部教育心理相談室と旧原洋子小児科クリニックでプレイセラピーを担当しました。そのほんの数年間の経験が全てで、その後は心療内科と学生相談が主な臨床領域でしたので、長い長いブランクの後の再修業の始まりとなりました。なぜこんな無謀な挑戦をしたのかと言いますと、ずっとやりたいと思い続けていた仕事だったからです。

この挑戦を受け入れてくださった一木こどもクリニックの一木貞徳理事長先生と邦彦院長先生に感謝する一方で、実は悪戦苦闘の日々が続いていました。約1年が過ぎて、漸く薄明かりが見え始めたところです。当初は自分が何をしているのか訳が分からず混沌とした中で焦り困り果てていたのですが、10か月くらい経った頃から「子どもはからだとイメージの世界の住人。その世界にからだごと一緒にいることが大事」と気づき始めました。そう考えると自分がしていることの意味が整理できて、どう接すればいいか少し掴めるようになってきました。つまり、言葉が通じるレベルの大人のカウンセリングに長く浸かっていた自分が、言葉ではなくからだの動きやイメージとして伝えられるメッセージをキャッチして、同じレベルでやり取りするというパラダイム転換を求められていることに気付いたのでした。

若い頃はそれを意識せずにできていたかというところではなく、若かった昔も同じようにその時に身に着けていた自分の殻との戦いがあり、うまく動けず悩んでいたように思います。昔との違いは、それを面白いと思えるようになったところでしょうか。これも年の功かもしれません。

目次

公開スーパーヴィジョン のご報告	-2
特別講演会のご案内・ 相談員募集	-3
こだちの心理臨床サービス	-4

設立17周年企画

福留留美先生 公開スーパーヴィジョンのご報告

こだち設立17周年の記念企画として、2023年11月12日(日)に福留留美先生(九州大学名誉教授、福岡女学院大学客員教授)をお招きして、公開スーパーヴィジョンを開催いたしました。約100名の方がご参加くださり、会場の雰囲気や参加後のアンケートからは大変満足度の高い研修会であったことが窺えました。

当日は「多職種・地域と協働し自立を目指す 愛着と依存の問題を抱える男性との心理面接」というタイトルで事例提供していただき、福留先生に適宜コメントをいただきながら、温かい雰囲気の中でスーパーヴィジョンが行われました。総合病院の中でお会いするクライアントに対して、セラピストが誠実・丁寧に関わりつつ、病院内外が多職種がひとつのチームとしてクライアントを抱えていらっしゃる様子が伝わってくるご発表であり、セラピスト個人、そしてチームがどのようにクライアントへ向き合っていくのかということについて、多くの示唆をいただきました。

福留先生は、ご自身の経験もまじえながらクライアントとセラピストの間に生じているものを丁寧に汲み取ってお話くださり、先生の心温まるコメントを通して、参加者自身もそれぞれの体験と重ねながら臨床を振り返る貴重な機会になったようです。福留先生、事例提供の先生、参加者の皆様に心より感謝いたします。



公開SV参加者の皆様のご感想

総合病院内での多職種の連携や、治療構造の枠組みが、心理面接へ与える影響や患者との関係の変化を丁寧に扱うことで理解が深まりました。

いろいろな要素が重なったケースを丁寧に見立て対応されていて、とても勉強になりました。
いろいろなスタッフと協働しサポートする際にも参考にさせていただきます。

コメント一つ一つはもちろんですが、先生のかもしだす雰囲気、姿勢、言葉の発し方、テンポや声質なども含めて、とても勉強になりました。

発表者が誠実にケースに向き合っている姿が勉強になりました。
また福留先生に多面的な視点を提示していただき、より広い視野でケースを眺めることができました。



事例のクライアント像、Th.の立ち位置などよくイメージが付き、事例発表の先生の困ってること、福留先生の問いかけや連想などおもしろかったです。

SVの雰囲気が優しく建設的で、足りない視点を補ってもらったり、強みを再確認できたりとずっと心に入ってくる公開SVでした。

特別講演会のご案内

各種研修会情報
～随時更新中～



こだち設立18周年記念
特別講演会
**「むなしさ」の味わい方
～日本文化と臨床の間～**
日時：2024年5月26日(日)
14：00～16：30
講師：北山 修 先生

2024年度の設立記念特別講演会では、北山修先生をお招きいたします。

申し込み方法などの詳細や、その他開催予定の研修会・講演会については、随時ホームページ等でお知らせしておりますのでご覧ください。

皆様のご参加をお待ちしております

◆こだちSNS◆



相談員募集のご案内

こだちでは、相談受付の増加にともない、一緒に働いてくださる登録相談員を引き続き募集しております。

是非周囲の方にもお声掛けいただき、ご関心がございましたら、まずはお気軽にこだち事務局 (jimukyoku@codachi.org) までご一報ください。



【業務内容】主に来談者へのカウンセリング

【必要資格】臨床心理士資格を有する人
当法人の正会員であること

【勤務時間】月曜日～土曜日の10：00～18：00の間で
都合のつく曜日・時間帯

【勤務場所】九州大学こころとそだちの相談室
福岡市早良区西新2-16-23
九州大学西新プラザ内 産学交流棟

こだちの心理臨床サービス



カウンセリングルーム 「こだち」

ご自身のことやご家庭、お子様のこと…さまざまご相談内容に対して臨床心理士の資格を持つ相談員が、お話を伺います。

家庭学習支援事業

ご家庭に心理学を学ぶ大学生である学習支援員を派遣し、お子さまそれぞれの特性や状況に応じたサポートを行います。

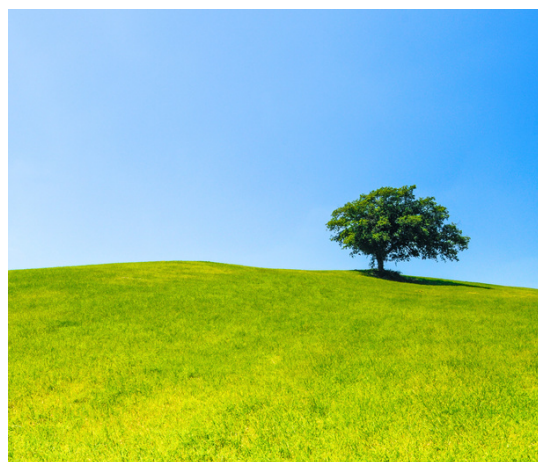
フリースペース 「ここりーと」

学校に行きにくい状況にあるお子さまを対象に、ゆっくりした時間を過ごせる居場所活動を開催しています。

入会のご案内

こだちは今年で18年目を迎えます。地域に定着した心理臨床サービスを継続するには、収支の安定が求められます。NPO法人の会員となって、私たちの活動を支えていただけると幸いです。会員になっていただける方はぜひ、こだちまでご連絡ください。なお、会費は1年毎の更新制です。よろしくお願いたします。

- 会員(ひと口5,000円)：臨床心理士・公認心理師・医師
その他対人援助に関わる方(定款参照)
- 学生会員(ひと口1,000円)：学部生・大学院修士課程
- 賛助会員(個人：ひと口5,000円・団体：ひと口10,000円)



ご支援のお願い

当NPO法人では、会員以外の方からも、ご寄付をお待ちしております。関心や興味を持たれた方は、ぜひご連絡ください。

交通のご案内



〒814-0002
福岡市早良区西新2-16-23
九州大学西新プラザ 産学交流棟

TEL / 092-832-1345
FAX / 092-832-1346

地下鉄でお越しの方

福岡市営地下鉄空港線 西新駅下車後
7番出口より徒歩にて約10分

バスでお越しの方

西鉄バス「西新一丁目」または「今川橋」下車後
徒歩にて約10分

FOR MORE INFORMATION
最新情報配信中



九州大学 こだち

